市民の声を代表して

9人の議員が一般質問

質問は3月4日、7日、8日の3日間行われました。
（質問の順序は抽選で決められ、その順に各議員から提出された要約原稿のとおり掲載しています。）

利用しやすい脱管理型に
市が主体で当分は運営

橘　雄介　議員（21市民の会）

❶大住ふれあいセンターは指定管理者制度の活用等、利用者しやすい脱行政的な運営で、世代間交流企画や人材の育成を。

軽食憩いコーナーは作業所等に委託し、利用市民等で実行委員会を。

福祉部長　当面は市が主体的に運営。指定管理者制度は慎重に検討。運営委員会の設置はしない。

交流活動や軽食コーナー等の外部委託はない。

助役　ふれあいセンターは児童館と老人福祉センターで、世代間交流の住民施設ではない。

❷京田辺を、多様な特色を活かした教育特区に。

シュタイナー学校やKIUの認知、保幼一元化の検討。自校炊飯給食の継続と図書専任司書や栄養士増員配置を。野外活動センターの民間委託を。

教育部長　両民間学校を注視し、円滑、柔軟な対応を図る。就学前の教育、保育の最善策を研究する。自校調理は継続し、図書司書専任、栄養士増員、野外活動センターの民間委託はしない。

❸元気な中高年齢世代の住民、アクティブシニアの生き甲斐策に、拠点と活動支援が必要な時代になった。誰もが福祉や環境活動に協力や役割を担える様に、地域通貨「きゅう」を市民の相互扶助ツールに。

福祉部長　地域福祉計画の策定ワークショップで高齢者活動など検討。

❹コミュニティを小学校区毎の住民自治組織、地域協議会方式に。指定管理者制度と年間予算交付で地域活性化策を。民生委員、社協ボランティア、市民による環境保全や福祉活動を。

総務部長　広域自治連合組織は、市民の機運が高まれば検討。現行の区、自治会活動を当分は継続。

地域公民館は分館として、地域主体で運営。

福祉部長　地域の実情を知る住民が活動を。

助役　自治会再編や意識改革は市民要望にない。

行政が誘導はしない。

4月25日にオープンした「大住ふれあいセンター」

平和学習として広島へ
小・中学生対象に派遣

水野恭子　議員（共産党）

❶今年は、広島、長崎の被爆から60年目を迎える。核兵器の廃絶は人類の生存と安全、世界平和のための緊急課題である。特に日本は、唯一被爆国として核兵器廃絶のためのイニシアチブを発揮することが求められている。

そのような中、今年の京田辺市の平和施策を積極的に行うべき。㋐平和推進協議会の委員を市民から公募し個人でも参加できるようにすべき。㋑小・中学校生を広島長崎へ平和大使として戦争の悲惨さや被爆体験を聞く平和学習を。㋒戦争体験集を、再度発行すべき。

総務部長　派遣事業については、今年度、平和推進協議会の決定で行う。

❷学校図書館に専任の司書配置を。議会で請願が趣旨採択されたにもかかわらず少しも前に進んでいない。第三次総合計画にも要望が多くでており、また一方で、図書館のあまりのひどさに、掃除や本の整理、読み聞かせなど、ボランティアが大きく広がっている。市は司書教諭を置いたということだが、司書教諭は読書指導の計画・立案・図書委員の指導であり、本の整理や調べ学習、本の紹介など、図書館にいつも人がいることが大切。ボランティアにばかり頼むのでなく、施策として市が行うべき。

教育部長　具体的検討を進めたい。

❸男女共同参画センターを早期に。基本法が制定され男女がともに参画できる社会を作るため、女性のパワーは大変重要。その拠点を早期につくれ。

市長公室長　具体的検討を進めたい。

❹通学路にガードレールを。大住小、幼稚園へ通う月読神社前の歩道にガードレールの設置を。大住ケ丘一丁目、三丁目の交差点のガードレールの充実を。

建設部長　安全対策として必要なところからつけていきたい。

市役所庁舎前にある平和のシンボル「和」

三山木駅前広場の整備は
H20年に完了予定

上田　登　議員（一新会）

❶市南部の生活拠点としての三山木駅周辺整備の、今後の市の整備構想についての考えは。

市長　三山木地区については、ハード事業とソフト事業をかみ合わせた総合的な整備を検討するため庁内組織を立ち上げており、地域住民、学生、事業者等の意向を踏まえて、南部地域にふさわしいハード面のデザイン等と、ソフト面の施設検討を行い、まちづくりを推進、支援を行う。

建設部長　平成17年度に駅前広場のデザインと高架下の利用計画を決定し平成20年に完了する予定で取り組みを進める。

経済環境部長　二又商店街の活性化については、地域住民、学生、事業者等の意向を十分に踏まえ必要な支援を行う。

❷南部住民センター整備計画の進捗について

教育長　教育委員会の計画の中で中期に整備する施設として位置づけており、三山木・普賢寺地区の人口動向や開発状況、区画整理事業の進捗状況を見ながら検討する。場所については、三山木駅前も視野に入れ今後、協議検討する。

❸普賢寺地域について

助役　天王・高船・打田の循環バスについては、既存バス路線との調整やバス停の調整など困難な状況はあるが地元の足の確保に向けて鋭意努力検討する。

経済環境部長　遊休農地を借上げ農業希望者へ貸し出すことについて、他団体の取り組み状況も踏まえ対応について検討するとともに地元特産品を生かした加工品の取組みに対し支援をしていく。

市長公室長　学研普賢寺地区実現や地域のまちづくりのため、普賢寺地域の特性や立地条件を生かした農業や自然等をテーマとした体験、参加型事業による市民交流や来客誘導をテーマとし、その中核施設を含めた研究を進める。

区画整理事業が進む三山木二又交差点付近

議会日誌

【2月】
2日　京都府市議会議長会幹事会
3日　山城地区議長連絡協議会
7日　山口県光市議会視察来庁
9日　総務常任委員会・文教福祉常任委員会・議会運営委員会
10日　議会運営委員会

【3月】
4日　第1回定例会〈一般質問〉
7日　第1回定例会〈一般質問〉
8日　議会運営委員会
9日　第1回定例会〈一般質問〉
10日　総務常任委員会・文教福祉常任委員会・協議会
11日　産業立地特別委員協議会
14日　建設経済常任委員会・協議会
15日　予算特別委員会（16、17、18、22、23、24日）
21日　議会運営委員会
22日　第1回定例会〈議案上程〉
24日　議員研修会
25日　第1回定例会〈代表質問〉
28日　第1回定例会〈一般質問〉
29日　議会運営委員会

【4月】
1日　第1回定例会〈一般質問〉
4日　議会運営委員会
5日　第1回定例会〈議案追加上程〉
12日　建設経済常任委員会
13日　議会運営委員会
15日　幹事会
19日　第1回定例会〈議案採決〉
21日　広報編集特別委員会（15、22、28日）
近畿市議会議長会幹事会（21日）
建設経済常任委員会
（以上主なもの）